

小泉八雲シリーズ ■ 再話の再話 紙芝居



しん・いなむらの火

原案である小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の「A living God（生神）」は、八雲の巧みな脚色により、「つなみ Tsunami」という言葉と『稲村の火』を世界中に広めました。その功績は、偉大です。

紙芝居『しん・いなむらの火』は、その背後の史実を基調として制作しました。



江戸時代の終わり頃、1954年（安政元年）12月23日の朝だった。「地震だ!」村人たちは、村長の指示のもと、神社に避難した。しかし、夜になっても、津波は来なかった。朝になり、村人たちは、ホッとして家に帰った。地震の後片付けをしていた、その日の夕方…。

〈原案〉小泉 八雲『稲むらの火』

〈絵〉吉田 恵子 〈脚本〉袋小路 マシュ麻呂

〈企画〉NPO法人アットホームホスピス

16場面

定価 2,530円（本体2,300円＋税10%）

ISBN 978-4-9909101-9-8

いびら工房

購入申込書

氏名 ふりがな

購入数

冊

連絡先 メールアドレス・電話番号・ファックス番号 いずれか

お届け先住所 〒